

日本学術会議
第二部会（第26期・第6回） 議事録

日時 令和6年10月22日（火）9：30～12：00

会場 日本学術会議6A(1)(2)会議室及びオンライン会議システムを併用した
ハイブリッド開催

出席：52名（敬称略）

【現地】

五十嵐、磯、岩崎、大越、岡村、奥田、尾崎、金井、狩野、神田、北島、木村（直子）、木村（通男）、小林、後藤（英司）、佐々木、澤、斯波、杉山（淳司）、高橋（尚人）、高橋（良輔）、高山、竹中、竹山、土井、中嶋、西川、西谷、西村、野田、樋田、深田、藤井、古屋敷、堀、村上、森、森山（啓司）、森山（美知子）、山田、柚崎、米田、渡辺（京子）、渡辺（雅彦）

【オンライン】

秋下、荒井、池邊、加藤、野出、眞鍋、三谷、山口、山本

議題

1. 審議

（1）部附置分科会の設置について（持続可能な医療システムの構築をめざして）

前回部会で提案された部附置分科会の設置に当たり、想定される課題について、神田部長が事前の検討結果を報告した。そして会員間で活発な議論を行った結果、部付置の分科会は設置しないことを決定した。また、医療費高騰、終末期医療、臓器移植や尊厳死、介護医療などの問題に関しては、それぞれの問題に直面している当事者や関連分科会等から情報を受けつつ、他部での検討との連携を模索することで、第二部内での問題意識を継続することとした。

（2）日本学術会議の在り方に関する検討状況について

磯副会長より、学協会連合と日学との連携として、年に1～2度の意見交換を開催することが提案され、第二部として了承した。また日本学術会議のありかたに関する有識者懇談会での議論について情報共有がなされた。

2. 報告

（1）各分野別委員会からの活動報告

生物科学系学術雑誌問題検討分科会、生命科学ジェンダーダイバーシティ分科会、統合生物学委員会、基礎医学委員会から定期活動報告が行われた。農学委員会からは第27

回国際昆虫学会議における日本学術会議の共同主催による運営支援に対して改めてお礼が述べられた。また科学者員会研究評価分科会の活動について、尾崎委員長より報告がなされた。

3. その他

(1) 意思の表出の査読について

事務局から査読のプロセスやフローチャートが説明され、磯副会長を中心に、意見交換が行われた。

(2) 予算執行について

現在の予算執行について事務局から説明がなされた後、神田部長より今後の執行方針について提案され、第二部として了承がなされた。

(3) その他

1) 夏季部会開催報告（ホスト機関：岡山大学）が神田部長よりなされた。

2) 分科会の開催について、事務局より注意喚起がなされた。